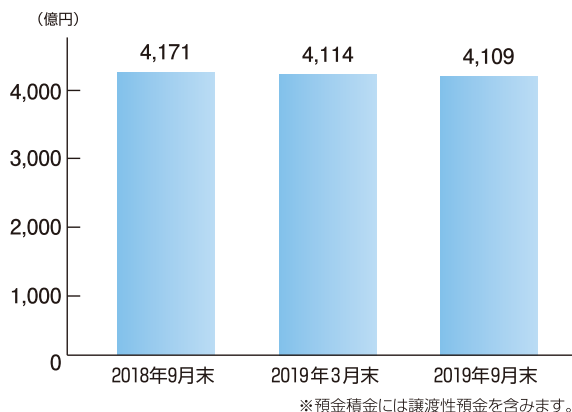


上半期の業績について

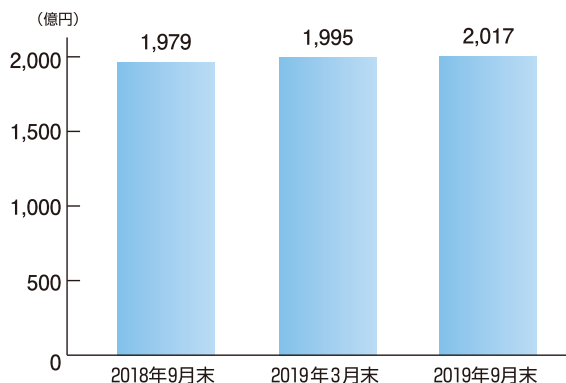
■ 預金・貸出金の状況

預金積金残高は、低金利を背景とした定期性預金の減少により、2019年3月末比4億円減少の4,109億円となりました。貸出金残高は、地域の皆さまの課題解決や資金需要にお応えし、同比22億円増加の2,017億円となりました。

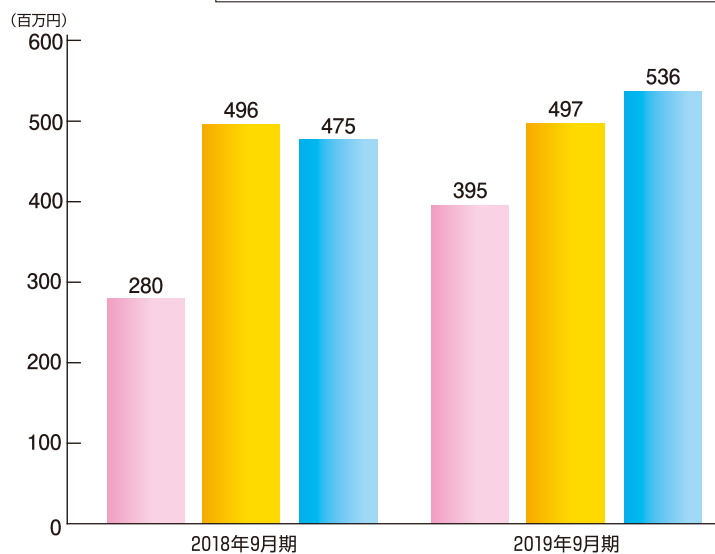
● 預金積金の推移



● 貸出金の推移



■ 損益の状況



資金利益の増加や経費の削減などにより、コア業務純利益は前年同期比115百万円増加の395百万円、経常利益は1百万円増加の497百万円、当期純利益は61百万円増加の536百万円となりました。

コア業務純益とは

一般企業の営業利益にあたる業務純益から、国債等債券の売買損益など一時的な変動要因を除いたもので、より実質的な本業での収益力を表します。

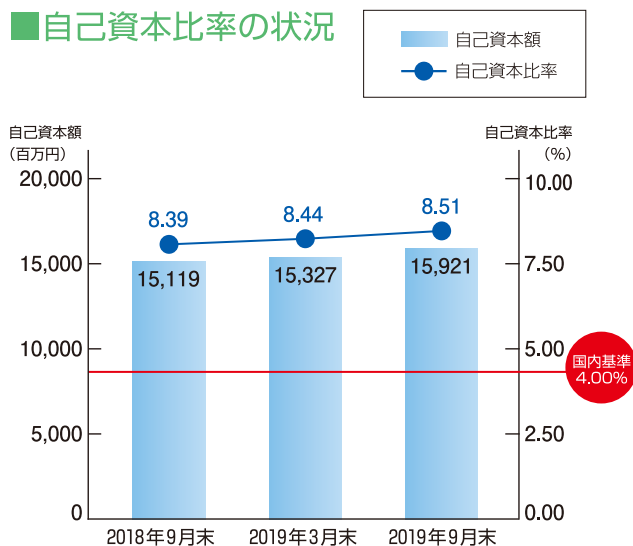
経常利益とは

金融機関の経常的な営業活動の成果を表すもので、金融機関の営業に通常発生する収益(経常収益)から費用(経常費用)を控除したものです。

当期純利益とは

経常利益に特別損益を加減算した利益から法人税、住民税及び事業税を控除し、さらに税効果会計による法人税等調整額を加減算したものです。

■ 自己資本比率の状況



自己資本比率は8.51%と、国内基準の4%を十分上回る水準を確保しております。引き続き経営の健全化・効率化を推進し、自己資本の充実を図ってまいります。

自己資本比率とは

自己資本額をリスク・アセット(貸出金や有価証券などの資産をリスクの度合いに応じた金額に換算して積算したもの)等の額で除したもので、経営の安全性・健全性・企業体力(リスクへの耐性)等を表す代表的な指標です。

● 自己資本の構成

(単位:百万円、%)

	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
コア資本に係る基礎項目 (A)	15,282	15,526	16,111
コア資本に係る調整項目 (B)	162	199	189
経過措置による不算入額	40		
自己資本 (A)-(B)=(C)	15,119	15,327	15,921
リスク・アセット等 (D)	180,170	181,446	187,032
自己資本比率 (C)/(D)	8.39	8.44	8.51

貸出金の業種別内訳

(単位:百万円,%)

	2018年9月末		2019年3月末		2019年9月末	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
製造業	15,638	7.89	16,040	8.03	16,159	8.00
農業、林業	831	0.41	736	0.36	743	0.36
漁業	0	0.00	3	0.00	2	0.00
鉱業、採石業、砂利採取業	242	0.12	257	0.12	260	0.12
建設業	16,394	8.28	17,545	8.79	18,523	9.18
電気、ガス、熱供給、水道業	594	0.30	957	0.47	1,464	0.72
情報通信業	240	0.12	399	0.19	356	0.17
運輸業、郵便業	5,431	2.74	5,497	2.75	5,736	2.84
卸売業、小売業	13,291	6.71	13,789	6.91	14,547	7.21
金融業、保険業	714	0.36	804	0.40	723	0.35
不動産業	24,201	12.22	24,639	12.34	25,223	12.50
物品賃貸業	1,392	0.70	1,536	0.76	1,421	0.70
学術研究、専門・技術サービス業	513	0.25	517	0.25	502	0.24
宿泊業	774	0.39	789	0.39	749	0.37
飲食業	2,235	1.12	2,282	1.14	2,431	1.20
生活関連サービス業、娯楽業	1,379	0.69	1,335	0.66	1,282	0.63
教育、学習支援業	281	0.14	515	0.25	378	0.18
医療、福祉	5,633	2.84	5,566	2.78	5,557	2.75
その他のサービス	10,165	5.13	10,765	5.39	11,167	5.53
小計	99,956	50.49	103,981	52.10	107,230	53.14
地方公共団体	20,330	10.26	19,208	9.62	18,413	9.12
個人	77,671	39.23	76,359	38.26	76,112	37.72
合計	197,957	100.00	199,549	100.00	201,755	100.00

(注)業種区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

金融再生法開示債権の状況

(単位:百万円,%)

	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
金融再生法上の不良債権 (A)	8,226	7,924	7,612
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,771	1,747	1,633
危険債権	6,264	5,991	5,798
要管理債権	189	184	180
正常債権	191,044	192,936	195,372
合計 (B)	199,270	200,860	202,985
不良債権比率 (A)/(B)	4.12	3.94	3.75
保全額 (C)	7,108	6,829	6,520
担保・保証等による回収見込額	6,004	5,728	5,603
貸倒引当金	1,104	1,101	916
保全率 (C)/(A)	86.41	86.18	85.64

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権(元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3月以上遅延している貸出金)」および「貸出条件緩和債権(債務者への再建支援を目的として、金利の減免など債務者に有利となる取決めを行った貸出金)」に該当する貸出金です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権であり、上記1、2、3以外の債権をいいます。
5. 貸倒引当金は正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

<2019年9月末の算出方法>

債務者区分については、原則として2019年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的事実が発生するなど債務者区分の変更が必要と認められる債務者については、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、その増減額を反映させております。

■有価証券の時価情報

1. 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種 類	2019年3月末			2019年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	3,096	3,798	701	3,096	3,825	728
	地方債	7,499	9,007	1,507	7,499	9,044	1,545
	社 債	2,291	2,778	486	2,291	2,783	492
	その 他	5,599	5,761	161	5,599	5,768	168
	小 計	18,487	21,344	2,857	18,488	21,421	2,933
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	その 他	1,800	1,728	△72	1,200	1,179	△20
	小 計	1,800	1,728	△72	1,200	1,179	△20
合 計		20,288	23,072	2,784	19,688	22,601	2,913

(注)1. 時価は、基準日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券です。

2. その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	2019年3月末			2019年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	515	431	83	431	379	52
	債 券	71,086	69,072	2,014	76,012	73,877	2,135
	国 債	1,714	1,704	9	2,830	2,801	29
	地方債	32,734	31,667	1,066	32,678	31,653	1,025
	社 債	36,637	35,699	937	40,503	39,422	1,081
	その 他	14,589	13,995	594	17,879	17,142	736
	小 計	86,191	83,498	2,692	94,323	91,399	2,924
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	1,256	1,518	△262	1,029	1,278	△249
	債 券	6,272	6,350	△78	3,582	3,593	△10
	国 債	4,990	5,066	△75	2,941	2,951	△10
	地方債	1,082	1,084	△2	541	541	0
	社 債	199	200	△0	99	100	0
	その 他	7,562	8,202	△639	5,445	5,955	△509
	小 計	15,090	16,071	△980	10,057	10,827	△769
合 計		101,281	99,570	1,711	104,381	102,226	2,155

(注)1. 貸借対照表計上額は、基準日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

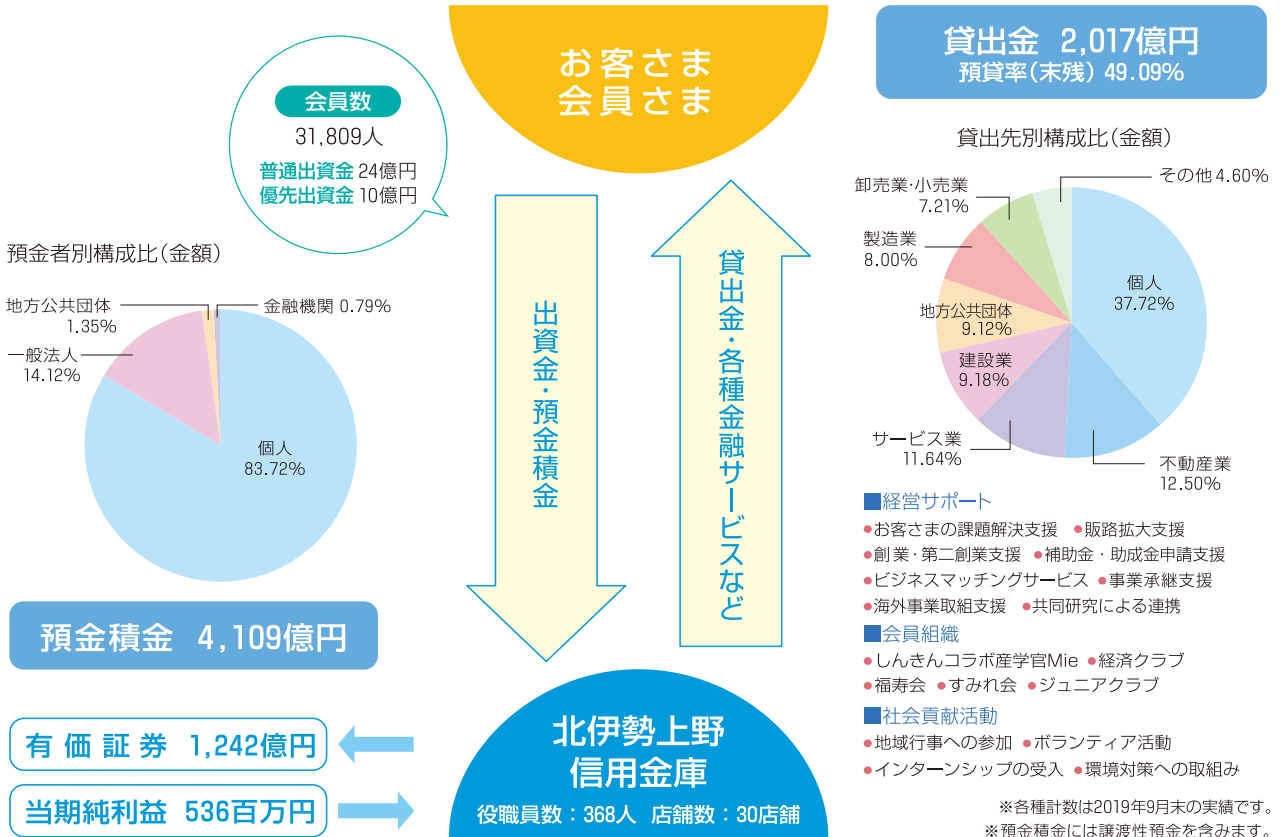
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	貸借対照表計上額	
	2019年3月末	2019年9月末
子 会 社 株 式	75	75
非 上 場 株 式	61	61
合 計	136	136

地域の皆さまとともに

「信用金庫」とは、限られた地域を営業エリアとする、地域住民や地域の中小企業のための金融機関です。株式会社である「銀行」と違い、会員の出資による協同組織の金融機関であり「非営利と相互扶助」を基本理念としています。当金庫は、三重県の北勢、伊賀を中心とした地域を営業エリアとして、地元のお客さまからお預かりした大切な資金（預金積金）を、地元のお客さまに広くご融資し、地域経済の安定や活性化に努めております。



きたしん諏訪太鼓チーム 地元祭りで演奏

昭和51年に結成された伝統あるきたしん諏訪太鼓チームは、毎年大四日市まつりに出演し、商店街や養護施設など四日市市内を巡回、地域の皆さまとの交流を深めています。本年度は開港120周年四日市港まつりでも演奏し、世界最大級の帆船「海王丸」の入港イベントで迫力ある太鼓の音を響かせました。



海王丸入港イベント

ジュニアクラブ 「茶道体験教室」

「ジュニアクラブ」は子どもたちの情操教育や健康づくりに役立てていただこうと、映画会やデーキャンプなど様々なイベントを行っています。中でも「茶道体験教室」はおもてなしの心や礼儀作法、和室での立ち振る舞いなど、普段触れる機会の少ないお茶の世界が体験できると好評をいただいています。今後もお子さまが興味を持つきっかけとなるようなイベントを企画してまいります。



茶道体験教室

上半期の主な取組み

4月

個人向け信託商品の取扱を全店舗に拡大

経済クラブ総会・講演会

～上野地区 講師:小和田 哲男 氏(静岡大学名誉教授)

「戦国武将に学ぶ“生き残り戦略”～現代にも通じる逆境を乗り越える知恵～」

～北伊勢地区 講師:諏訪 貴子 氏(ダイヤ精機(株)代表取締役)

「町工場発!二代目社長の経営改革と人財育成」

名南M&A株式会社との「M&A仲介業務に関する協定書」締結



経済クラブ講演会

5月

お客さま本位の業務運営にかかる取組実績をKPIとして策定、公表

デザミス株式会社とのビジネスマッチング契約締結

～IoTを活用した牛の行動モニタリングシステム「U-motion®」の提供

事業承継M&Aセミナー実施

(共催:三重県、名南M&A株式会社、株式会社ビズリーチ)

2019年度新入職員自衛隊研修(陸上自衛隊 久居駐屯地)

6月

サマーキャンペーン(～8月)

四日市まちゼミサテライトin近鉄四日市に参加

～「つみたてNISAって何?」をテーマに投資信託をわかりやすく解説

第91期通常総代会

スマホ決済サービス「Origami Pay」と口座連携開始

西原支店取引先が運営するフットサルコートにかかる整備資金をクラウドファンディングで募集

～目標金額20万円達成



東海地区しんきん日本酒カタログ

7月

営業地区変更(津市、奈良県山辺郡、滋賀県甲賀市 一部地域から全域へ)

「東海地区しんきん日本酒カタログ」を作成し、東海4県下の酒蔵68か所を紹介

ジュニアクラブ「人形劇&絵本ライブ」



ジュニアクラブ「デーキャンプ」

8月

きたしん諏訪太鼓チーム

開港120周年四日市港まつり・大四日市まつりで演奏

ジュニアクラブ「茶道教室」「デーキャンプ」

第3回北伊勢上野信用金庫杯

鈴鹿市ジュニアバレーボール交歓大会開催、協賛

上野天神祭「ダンジリ行事」運営資金をクラウドファンディングで募集

～目標金額70万円達成

9月

第5回四日市まちゼミに参加

～「一喜一憂しなくていい はじめてのつみたてNISA」をテーマに

投資信託をわかりやすく解説

経済クラブ社会見学

～北伊勢地区「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館と千代保稲荷神社」

～上野地区「朝日新聞京都工場見学とフレンチテーブルマナー昼食」

「後見支援預金」取扱開始

～被後見人の財産を安全・適切に管理



第3回北伊勢上野信用金庫杯